

東浦町運行バス「う・ら・ら」各路線の利用者数

1 利用者数の推移

2025年度の東浦町運行バス「う・ら・ら」の利用者数の月別推移は図1及び表1のとおりである。

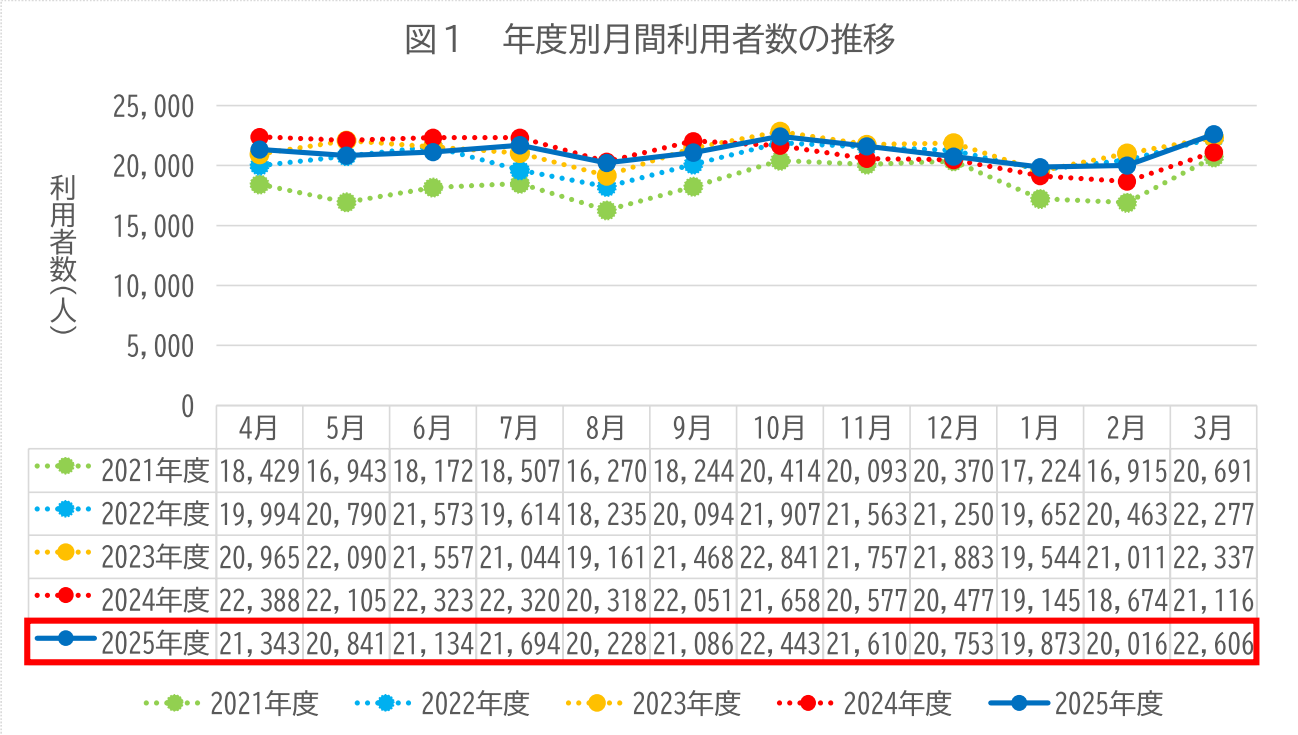


表1 2025年度の各路線の利用者数の月別推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長寿線	4,262	4,255	3,873	4,073	3,957	4,029	4,223	4,017	4,110	3,762	3,879	4,269	48,709
刈谷線	3,090	3,004	2,949	3,272	3,261	3,253	3,264	3,329	2,966	2,915	3,076	3,514	37,893
藤江線	6,521	6,508	6,786	6,626	6,265	6,338	6,853	7,044	6,348	6,031	6,170	7,047	78,537
新田線	6,013	5,769	6,080	6,025	5,121	5,956	6,601	5,837	5,891	5,769	5,606	6,330	70,998
高校線	2,019	1,858	1,973	2,178	2,045	1,960	2,038	1,861	1,915	1,815	1,720	1,958	23,340
計 (A)	21,905	21,394	21,661	22,174	20,649	21,536	22,979	22,088	21,230	20,292	20,451	23,118	259,477
乗継券利用者数 (B) ※1	562	553	527	480	421	450	536	478	477	419	435	512	5,850
利用者数 (A) - (B)	21,343	20,841	21,134	21,694	20,228	21,086	22,443	21,610	20,753	19,873	20,016	22,606	253,627
1日あたりの乗車人数	711	672	704	700	653	703	724	720	692	662	715	729	
2024年度の利用者数	22,388	22,105	22,323	22,320	20,318	22,051	21,658	20,577	20,477	19,145	18,674	21,116	253,152
2024年度との増減数	△ 1,045	△ 1,264	△ 1,189	△ 626	△ 90	△ 965	785	1,033	276	728	1,342	1,490	475
2024年度との増減比	95%	94%	95%	97%	100%	96%	104%	105%	101%	104%	107%	107%	100.2%

※1…「乗継券利用者数 (B)」は、乗継券の利用者数のみを集計している (定期券で乗り継ぎした利用者は含まない)。

図1及び表1から、2025年及び2024年の利用者数と比較すると、以下のことが分かる。

(1) 2025 年度利用者数

2025 年度の利用者数は **253,627 人**と、2024 年度の利用者数と比較すると **475 人増 (前年比+0.2%)** となっている。

(2) 上半期 (4 月～9 月) の利用状況

2025 年 4 月～9 月の利用者数は **126,326 人**と、2024 年 4 月～9 月 (ダイヤ改正前) と比較すると **-5,179 人 (前年比-4%)** となっている。特に 4 月～6 月で減少幅が大きい。ダイヤ改正による一時的な利用者離れが起こった。

(3) 下半期 (10 月～3 月) の利用状況

2025 年 10 月～2026 年 3 月の利用者数は **127,301 人**と、2024 年 10 月～2025 年 3 月 (ダイヤ改正後) と比較すると **+5,654 人 (前年比+5%)** となっており、すべての月で増加している。

(4) 分析内容

ダイヤ改正後の状況を振り返ると、利用者数に大幅な減少は見られず、路線再編が効果を発揮したことがうかがえる。

(5) 課題

ダイヤ改正による一時的な利用者離れを最小限に抑えるための取組や、新規ユーザーの獲得等、効果的な周知方法の検討が必要。

2 刈谷線の利用者数の推移

2025年度の刈谷線の利用者数は、図2及び表2のとおりである。

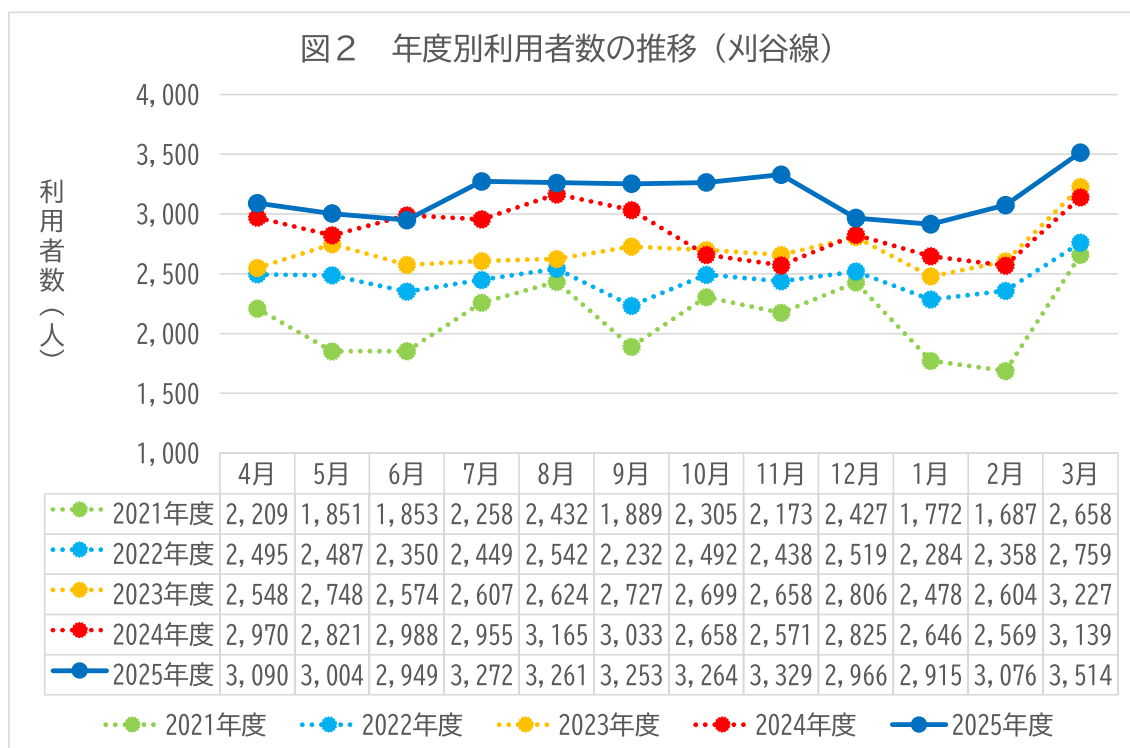


表2 年度別月間利用者数の推移（刈谷線）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	10～3月 利用者数	年間1便 あたり 利用者数	10～3月 1便あたり 利用者 数
2021年度	2,209	1,851	1,853	2,258	2,432	1,889	2,305	2,173	2,427	1,772	1,687	2,658	25,514	13,022	3.9	4.0
2022年度	2,495	2,487	2,350	2,449	2,542	2,232	2,492	2,438	2,519	2,284	2,358	2,759	29,405	14,850	4.5	4.6
2023年度	2,548	2,748	2,574	2,607	2,624	2,727	2,699	2,658	2,806	2,478	2,604	3,227	32,300	16,472	4.9	5.1
2024年度	2,970	2,821	2,988	2,955	3,165	3,033	2,658	2,571	2,825	2,646	2,569	3,139	34,340	16,408	5.9	6.5
2025年度	3,090	3,004	2,949	3,272	3,261	3,253	3,264	3,329	2,966	2,915	3,076	3,514	37,893	19,064	7.5	7.5

（補足1）刈谷線の運行便数（便）

	～2024年9月	2024年10月～
運行便数	18	14

2025年度の利用者数は37,893人で、2024年度から3,553人増（前年比+10%）となり、過去4年間の各年度を上回っている。2024年10月のダイヤ改正で刈谷線の便数は18便から14便に減便されたが、2024年度と2025年度の10月～3月の利用者数比較では2,656人増（前年比+16%）となり、減便が利用者数に影響を及ぼさなかったことを示している。

さらに、年間1便あたりの利用者数は7.5人（前年比+27%）となり、減便したことにより運行効率が向上したことを示している。

3 長寿線の利用者数の推移

2025年度の長寿線の利用者数は、図3及び表3のとおりである。

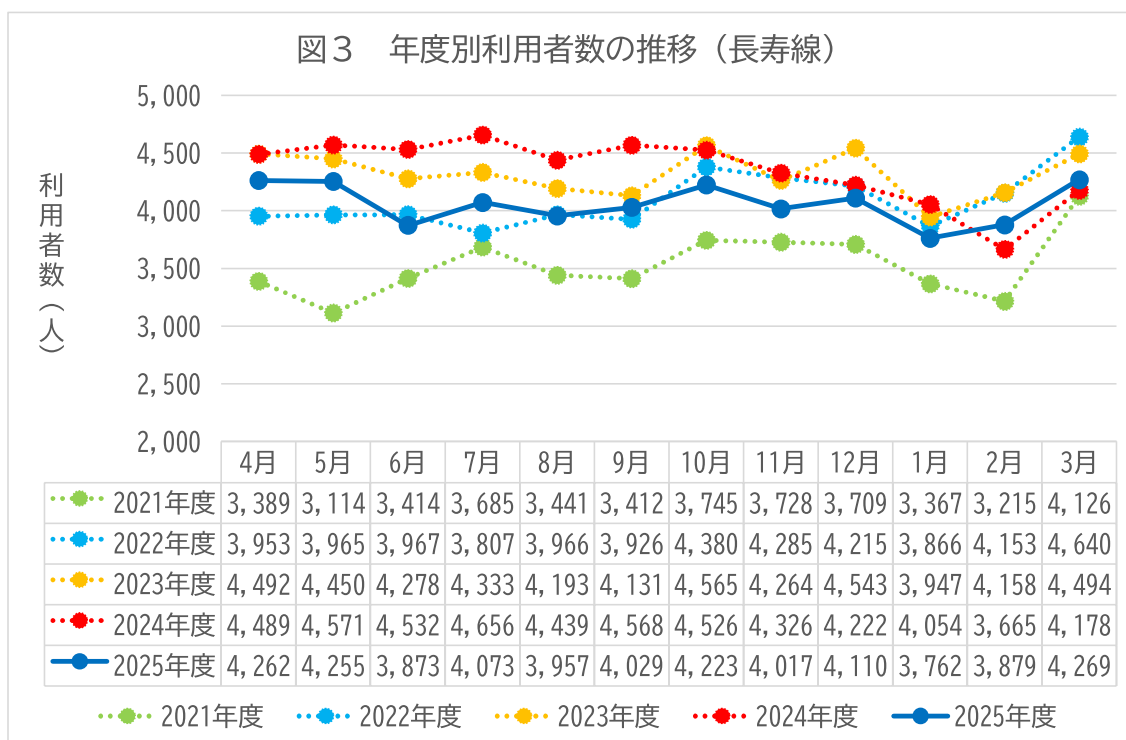


表3 年度別月間利用者数の推移（長寿線）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	10～3月利用者数	年間1便当たり利用	10～3月1便当たり利用者
2021年度	3,389	3,114	3,414	3,685	3,441	3,412	3,745	3,728	3,709	3,367	3,215	4,126	42,345	21,890	5.2	5.6
2022年度	3,953	3,965	3,967	3,807	3,966	3,926	4,380	4,285	4,215	3,866	4,153	4,640	49,123	25,539	6.5	6.8
2023年度	4,492	4,450	4,278	4,333	4,193	4,131	4,565	4,264	4,543	3,947	4,158	4,494	51,848	25,971	7.5	7.9
2024年度	4,489	4,571	4,532	4,656	4,439	4,568	4,526	4,326	4,222	4,054	3,665	4,178	52,226	24,971	7.9	8.0
2025年度	4,262	4,255	3,873	4,073	3,957	4,029	4,223	4,017	4,110	3,762	3,879	4,269	48,709	24,260	7.7	7.8

（補足2）長寿線の運行便数（便）

	～2024年9月	2024年10月～
運行便数	18	18（休日16）

2025年度の利用者数は48,709人である。2024年度の利用者数と比較すると、-3,517人減（前年比-7%）と利用者数が下回る結果となった。

利用者数減少の主因として、2024年10月のダイヤ改正による減便（平日18便→16便）が挙げられる。この変更で休日の利便性が低下し、休日利用者が離れた可能性が高い。

一方、一部利用者が慣れたことで減少幅は緩和されている。この適応は成果を上げつつも、移動手段を変えた層や移動を控えた層の回復には効果が薄い。このため、便数削減以外の要因（料金変更、地域需要変化など）の検証が必要であり、次年度以降はさらなる利用促進策が求められる。

4 藤江線の利用者数の推移

2025年度の藤江線の利用者数は、図4及び表4、5のとおりである。

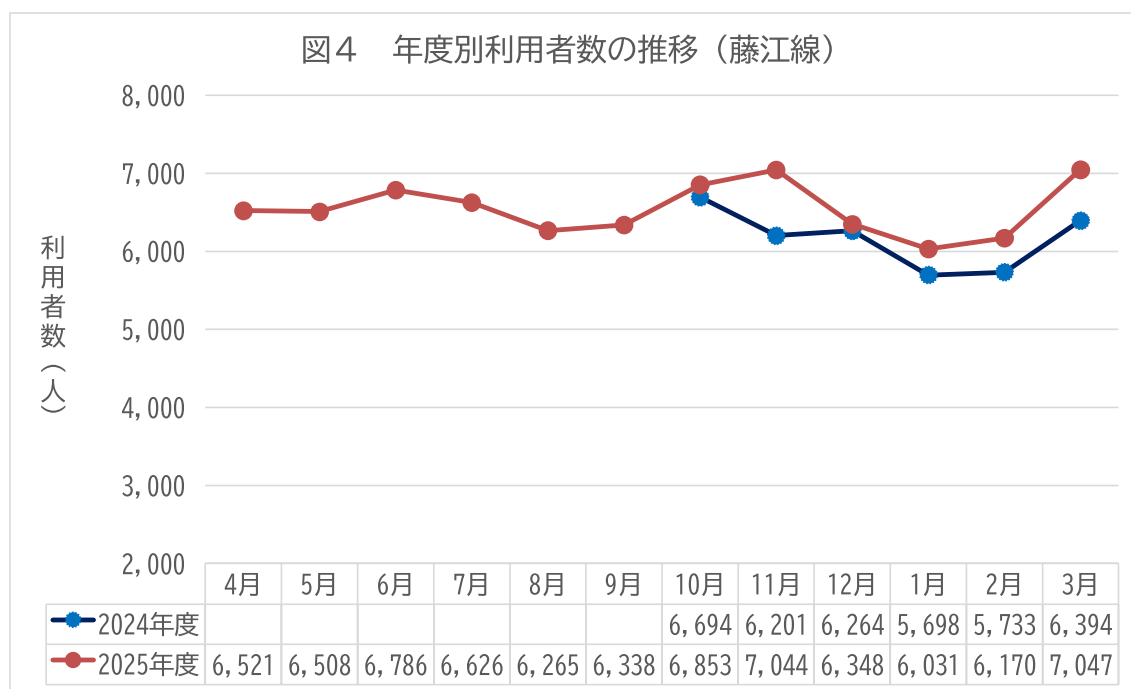


表4 年度別月間利用者数の推移（藤江線）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2024年度							6,694	6,201	6,264	5,698	5,733	6,394	36,984
2025年度	6,521	6,508	6,786	6,626	6,265	6,338	6,853	7,044	6,348	6,031	6,170	7,047	78,537

藤江線は2024年10月のダイヤ改正に伴い新設された路線である。2025年度の年間利用者数は78,537人で、「う・ら・ら」5路線の中で最多となった。同年度の10月～3月の利用者数は39,493人で、前年度同期間（36,984人）と比較すると2,509人増加（前年比＋7％）している。月ごとの利用者数の変動からも、利用者の増加傾向が確認される

表5 藤江線におけるバス停「巽ヶ丘駅」の年度別月間利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2024年度							264	245	235	259	303	330	1,636
2025年度	351	401	372	374	384	335	385	370	340	347	339	358	4,356

藤江線における巽ヶ丘駅のバス利用者数は、2025年度の年間利用者数が4,356人となり、2024年度から2,720人増加した。この急成長の背景には、新たに乗り入れしただけでなく、沿線バス停を知多バス「東ヶ丘団地線」と統一した名称・位置に変更し、さらに協議運賃を100円に統一した施策が大きく寄与している。ダイヤ改正後の2024年度と2025年度の10月～3月の利用者数比較では503人増（前年比＋31％）となった。

5 新田線の利用者数の推移

2025年度の新田線の利用者数は、図5及び表6、7のとおりである。

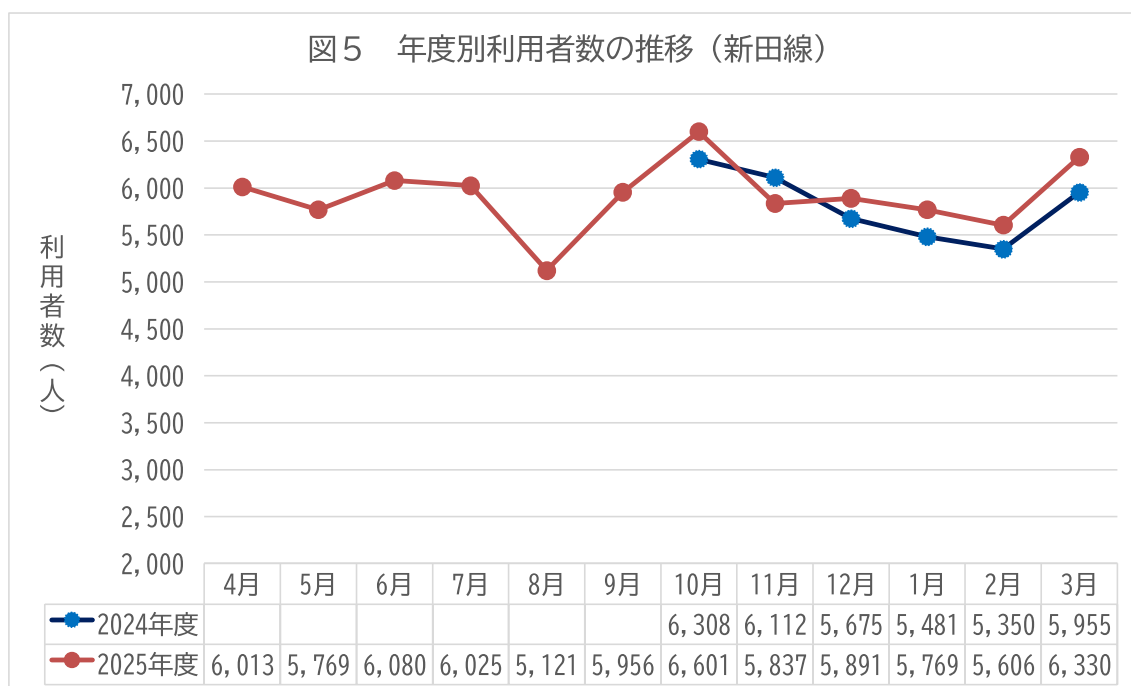


表6 年度別月間利用者数の推移（新田線）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2024年度							6,308	6,112	5,675	5,481	5,350	5,955	34,881
2025年度	6,013	5,769	6,080	6,025	5,121	5,956	6,601	5,837	5,891	5,769	5,606	6,330	70,998

新田線は2024年10月のダイヤ改正に伴い新設された路線である。**2025年度の年間利用者数は70,998人**で、藤江線に次ぐ利用者数を誇る。同年度の10月～3月の利用者数は36,034人で、前年度同期間（34,881人）と比較すると1,153人増加（前年比+3%）している。藤江線と同様、沿線バス停を知多バス「東ヶ丘団地線」と統一した名称・位置に変更し、さらに協議運賃を100円に統一した施策が大きく寄与している。

表7 新田線におけるバス停「巽ヶ丘駅」の年度別月間利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2024年度							480	406	386	363	338	452	2,425
2025年度	514	452	485	529	561	465	495	488	492	451	526	686	6,144

巽ヶ丘駅は2024年10月のダイヤ改正に伴い新設されたバス停である。**新田線における巽ヶ丘駅のバス利用者数は、6,144人**となり、2024年度から**3,719人増加**した。この利用

者数の急増を支えた背景には、ダイヤ改正後の運行体制の見直しや沿線地域の需要喚起施策が挙げられる。ダイヤ改正後の2024年度と2025年度の10月～3月の利用者数比較では、利用者数が713人増（前年比+29%）と顕著な増加を記録しており、ダイヤ改正後の影響が継続的に利用者増加へとつながっていることが確認される。10月から翌年3月にかけての各月の利用者数は前年を上回る数字を示しており、とりわけ2月（前年比+56%）と3月（前年比+52%）に大きな伸びが見られた。

表8 新田線におけるバス停「知北平和公園」の年度別月間利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2024年度							33	34	37	28	28	34	194
2025年度	31	22	12	25	23	29	25	38	19	25	16	38	303

知北平和公園は2024年10月のダイヤ改正に伴い新設されたバス停である。**2024年度の10月～3月の利用者数は194人**だったのに対し、**2025年度の同期間の利用者数は161人**となり、33人減少している。減少率は約17%であり、特に12月（-18人）、1月（-3人）、2月（-12人）に利用者数の減少が顕著に見られる。

6 高校線の利用者数の推移

2024年度の高校線の利用者数は、図6及び表9のとおりである。

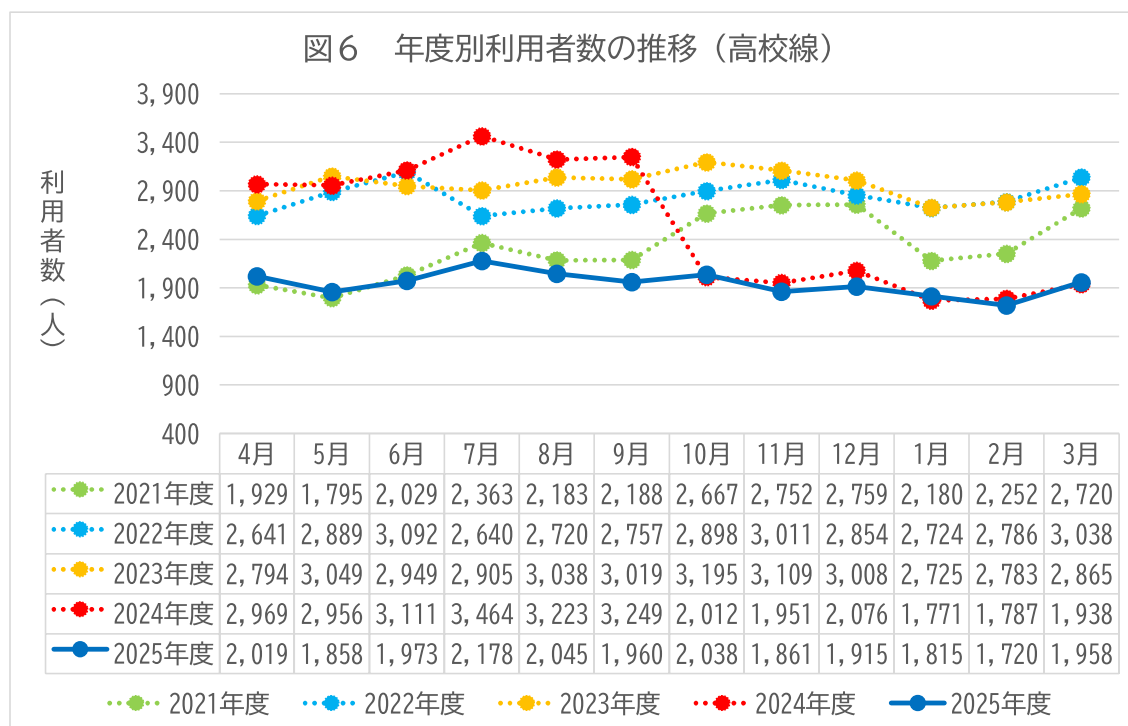


表9 年度別月間利用者数の推移（高校線）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	10~3月利用者数	年間1便当たり利用	10~3月1便当たり利用者
2021年度	1,929	1,795	2,029	2,363	2,183	2,188	2,667	2,752	2,759	2,180	2,252	2,720	27,817	15,330	7.7	8.5
2022年度	2,641	2,889	3,092	2,640	2,720	2,757	2,898	3,011	2,854	2,724	2,786	3,038	34,050	17,311	9.4	9.6
2023年度	2,794	3,049	2,949	2,905	3,038	3,019	3,195	3,109	3,008	2,725	2,783	2,865	35,439	17,685	9.8	9.8
2024年度	2,969	2,956	3,111	3,464	3,223	3,249	2,012	1,951	2,076	1,771	1,787	1,938	30,507	11,535	10.9	12.0
2025年度	2,019	1,858	1,973	2,178	2,045	1,960	2,038	1,861	1,915	1,815	1,720	1,958	23,340	11,307	12.0	11.8

（補足3）高校線の運行便数（便）

	～2021年1月	2021年2月～	2024年10月～
運行便数	7	10	6（休日4）

※2024年9月以前は東浦高校線文化センター経由及び於大公園南経由の計

高校線は2024年10月に実施したダイヤ改正に伴い、東浦高校線（於大公園南経由）及び東浦高校線（文化センター経由）を統合してできた路線である。

2025年度の年間利用者数は23,340人で、前年（30,507人）と比較すると7,167人減少（前年比-23.5%）している。同年度の10月～3月の利用者数は11,307人で、前年度同期間（11,535人）と比較すると228人減少（前年比-2.0%）している。ただし、減便の影響から便当たりの利用者数は年間で12.0人と過去最大を記録しており、運行効率の向上が見られる点は評価できる。